

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)11月19 日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H24019

発 信 者 名:三溝、中橋



担い手意見交換会を旧高島町地域で開催

去る11月6日に、「農地の集約」をテーマに、旧高島町地域(26集落)の担い手意見交換会が開催されました。当日は、地域の主要な担い手6名が参加され、互いに本音で意見交換を行う良い機会となりました。

当課は、地域計画の策定が法律で定められたことをきっかけに、昨年から旧町単位(マキノ、今津、新旭、安曇川、朽木)で「担い手意見交換会」の開催を支援してきました。

旧高島町地域は集落で少しずつ話し合いが行われてきているものの、まだ地域計画が策定されておらず、集落によっては、「将来10年後に耕作している地元の担い手がいな。他集落の担い手が入り作できるのか情報がほしい。」という意見も出ていました。また、高島地域で担い手が集まる機会はほとんどありませんでした。

11月6日の旧高島町地域における、担い手意見交換会には、担い手6名、関係機関4名が参加されました。当日は、まず自己紹介してもらったのち、事前アンケートで要望のあったテーマである「農地の交換・移動の調整」と「出し手受け手の調整」について、各々意見を述べていただきました。そして、今後の栽培面積や集約意向について意見を求めつつ、具体的に担い手がいな集落について地図を見ながら、入り作可能かどうか、思いを聞き取りました。その結果、「農地の集約には、各集落での窓口機能が欠かせない」や「集約して耕作を任せてもらえたら、入り作可能」などの意見がありました。

今後は、市とともに、担い手の意向を、各集落に伝えながら、地域計画の策定に向けて支援し、かつ策定された地域計画をどのように「活用」していくかに向けても働きかけていきます。

